

第**214**号

令和8年4月10日発行

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会

発行人 積田優

編集人 広報委員会

(委員長 矢嶋博和)

事務局

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋4-1-7(建産連会館内)

https://www.saidenkyo.jp/ E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

TEL 048(864)0385

編集 日本工業経済新聞社(埼玉建設新聞)

# さいのかがやき 彩の耀

一般社団法人 埼玉県電業協会

耀け埼玉電協!

～2030年に向けて持続可能な開発目標～



## AIの活用方法探る イノベーションセミナー

専門家が講演と座談会



年頭の恒例行事であるイノベーションセミナーを1月15日、ホテルブリランテ武蔵野で開催しました。今年のテーマは協会が積極的に取り組んでいるAI。第一線で活躍する2人の専門家が講演しました。

積田会長は「AIの活用は、業務の効率化をはじめ建設業の発展に必要な不可欠なもの。現場で働く技術者や作業員もデジタル技術者に変化しなければならないと言われており、協会として今後も力を入れていきたい」と必要性を訴えました。

セミナーでは最初に、東京大学特任研究員で株式会社Bolteo代表の佐川大志氏が、これまでのAIの歩み・最新のAIの動向と同社の取り組みについて

講演。次に、デジタルグリッド株式会社代表の豊田祐介氏が、エネルギーとAIの未来をテーマに、それぞれの取り組みを紹介しました。

その後、パネルディスカッションを実施しました。この中で、人間とAIの関係性や中小企業で生成AIをどのように活用して自社の経営や課題解決に生かしていくかについて佐川氏は「まずは触れてみる事が大事。社内で生成AIを使うためのルールを作成し、そのうえでいろいろなツールを使える状態にしておくことが重要だ」と述べ、社内で使える体制を整備することの重要性を説くとともに、「足元で着実に活用して、生産性を上げていくことだ」と訴えました。



ファシリテーター立松氏による進行

## 能登半島被災地を視察

石川電設協会と意見交換



当協会では、隔年事業で災害復興支援および視察会を実施しています。本年度は3月6日と7日の2日間、積田会長を含む22名が参加して、令和6年1月1日に発生した能登半島地震(マグニチュード7.6、最大震度7)と同年9月の豪雨災害により大きな被害を受けた石川県輪島市、珠洲市を中心に被災地の視察を行いました。

6日には、金沢市の石川県地場産業振興センターで石川電設協会瀬戸和夫会長ら幹部との意見交換会を開催しました。震災発生時および震災後の同協会の対応、防災対策、現在の復興状況などについて説明を受けるとともに、両協会の現状について情報共有を行いました。石川県からの要請は、災害協定に基づき工事組合が災害対応を一元管理し、協会は会員企業への支援や情報共有を実施したとの説明がありました。地域は現在も仮復旧の状態にあり、完全復旧には数年から10年単位の時間が必要と見込まれていることから、長期的な支援の継続や観光業・地域経済の復興支援



石川電設協会と意見交換

の重要性についても意見が交わされました。

意見交換会終了後はバスで輪島市へ移動し、昨年当協会が開催した災害復旧対策講習会で講演を依頼した一二三輪島市議会議員の案内により、市内の被災状況を視察しました。

7日は珠洲市を訪れ、復興支援ガイドツアーとして「レポート珠洲」に所属する宮口ガイドの案内で現地を視察しました。見附島では地震前の写真と現在の状況を比較しながら説明を受け、津波による被害の大きさや現在も残る震災の爪痕を確認しました。2日間の視察を通じ、被災地の現状を直接確認するとともに、今後も継続した支援の重要性を改めて認識する機会となりました。



珠洲市内で隆起したマンホールを視察



市議とともに輪島市内の朝市通りにて

# 川口を一番輝くまちに



## 川口市長 岡村ゆり子

一般社団法人埼玉  
県電業協会の皆様  
におかれましては、日  
頃から電気設備産業  
の健全な発展に努め

られ、あらゆる場面で私たちの暮らしを支えていただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

私は、去る2月1日に行われました川口市長選挙におきまして、多くの市民の皆様からのご支援を賜り、60万都市の市政を担わせていただくことになりました。

行政の最も基本であり、かつ最大の役割は、市民の皆様からお預かりした貴重な税金を、無駄なく、より良い市民サービスとしてお返しすることです。真に選ばれるまち、輝くまちを目指し、「川口を輝かせるための6つの基本政策」を掲げ、様々な施策を推進して参ります。

1点目は、「人づくりなくして国づくりなし子育て、教育に力を入れるまちへ」です。川口の未来を担うすべての子どもたちがよりよい環境で育つことができるよう、5歳児健康診査の導入や妊産婦への支援の拡充、小学校体育館への空調機設置の更なる促進、主権者教育や体験学習の推進など、子育て、教育環境の充実に努めて参ります。

2点目は、「安心して暮らし続けられるまちへ」です。治安向上を第一に、災害時の備えや誰もが希望を持って安心して暮らしていくことができるよう、日本のルールを理解していない外国人住民に対して全庁をあげた生活ルールの徹底をはじめ、地域防災力の強化や避難所の環境整備、障がい者の親なき後支援の推進や認知症対策の充実などを図って参ります。

3点目は、「真に選ばれるまちへ」です。暮らしの満足度、幸福度を高めることができるよう明るいまちを目指し、子どもたちが元気に遊べる公園整備の推進、美化活動の強化、高齢者の移動手段の確保、公共インフラの総点検に取り組んで参ります。

4点目は、「市民の声や繋がりを大切にするまちへ」です。まちはみんなで作るものです。市民の皆様の声やまちづくりに活かしていくため、私が直接伺う意見交換会の開催、町会・自治会活動の充実や負担軽減対策、公民館活動の活性化、拉致問題を共に考えることができる環境づくりなど、人や地域の繋がりが大切であると市民の皆様が実感できるよう取り組んで参ります。

5点目は、「地域経済の活性化による活気のあるまちへ」です。産業の振興なくしてまちの発展はありません。川口ブランドの更なる活用、文化や歴史を活かした賑わいづくりなど、まちの魅力を再発見し情報発信に努めるほか、スポーツの持つ力を最大限活用し、まちの活性化や川口のイメージ向上のため、スポーツ施設の整備・充実を図り、未来を担う子どもたちに夢と希望を与えたいと考えております。さらに、シニアの活躍や障がい者アートの活用を推進し、まちの活性化にも積極的に取り組んで参ります。

6点目は、「働きやすく信頼できる市役所があるまちへ」です。市役所は市の顔であり、職員は常に研鑽を積み、個々の能力を十分に発揮しワンチームで市民の皆様へサービスを提供しなければなりません。このため、私は、職員との積極的な意見交換により、風通しのよい職場づくりを目指すほか、DXを活用した業務の効率化を徹底し、現在実施している様々な事業の目的や効果を改めて見つめ直し、市民サービスの更なる向上のため市役所改革も進めて参ります。

こうした施策を推進し、「住んでよかった、これからも住み続けたい」と誰もが実感する、市民の皆様から心から喜ばれる輝くまちを目指して走り続けて参りますので、貴協会の皆様におかれましても、市政運営に対し、引き続きご理解、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人埼玉県電業協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

# 令和8年度の委員会活動案内

総務・広報委員会	着実に一歩ずつ
企業対策委員会	AIの高度活用と次世代人材の確保
技術研究委員会	最新技術の技術講習会開催
事故防止対策委員会	安全意識の向上と防災・減災対策
人材育成委員会	多様な人材獲得の時代



## 総務・広報委員会 委員長 橋本 幹男

昨年は各事業へのご協力ありがとうございました。特に50周年記念式典・祝賀会には多数の会員皆様方にご参加いただき盛大に開催できましたこと、深く感謝申し上げます。ご来賓の皆様方にも大変ご好評を博し、おかげさまで大成功裏に終わりましたこと、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、組織改編にともない、本年度5月定時総会後、総務委員会は広報委員会と合併して総務・広報委員会となります。担当事業は文字通り両委員会の統合で、総務系は定時総会・懇親会、優良従業員表彰、全体会議、会員交流大会、賀詞交歓会・イノベ

ションセミナー（企業対策委員会共催）、共同購買事業、広報系は「彩の耀」発行、HP管理、出前授業（人材育成委員会共催）を予定しています。事業内容としては例年通りとなりますが、本年度は役員改選がありますので全体会議が開催されます。委員会配属も更新されますので、今後のスムーズな委員会活動のためにもできるだけご出席ください。なお、県庁オープンデーは土曜日のため本年度の開催はありませんのでご注意ください。

総務・広報が統合されましたが、担当事業は特段の変更はありません。事務局とともに協会の基盤・基礎となる委員会として着実に進めてまいります。本年度もよろしく申し上げます。

## 企業対策委員会 委員長 吉村 光司

企業対策委員会では、会員企業の経営課題に直結する有益な取り組みを実施してまいります。

本年度企業対策セミナーは3回を計画しており、第1回目は6月開催予定です。昨年度に続き、AI（人工知能）の活用を深化させるための発展的セミナー（ハイブコーディング等の上級編）を開催いたします。具体的な活用手法を深く学ぶことで、会員企業の生産性向上や業務効率化に更なる貢献を目指します。

第2回目は8月開催予定です。例年通り埼玉県空衛衛生設備協会との共催により関係行政機関より講師をお招きして最新の行政動向や業界の課題について理解を深める機会を提供いたします。

第3回目は10月中旬開催予定です。建設ディレクターへのAIを用いた現場支援や、外国人高度人材の受け入れに関するセミナーを企画いたします。多様な視点から労働力不足の解消や業務の高度化を図り、電設業界の未来を見据えた有益な情報共有の場としてまいります。

毎年、新年に開催します総務委員会との合同事業のイノベーションセミナーでは最新の情報を提供してまいります。また本年は建設DX・GXの社会実装を加速させる年とし、業界の変革へ向けた活動も引き続き鋭意進めてまいります。

本年度も会員企業の皆様にとって有益な内容となるよう、委員会一同努めてまいります。

## 技術研究委員会 委員長 深井 正美

2026年度、技術研究委員会としては、技術者向けの最新の技術講習会を開催いたします。テーマについては高圧受変電設備の設計・施工の技術講習会を5月に開催します。若手から中堅、ベテランの技術者皆様のご参加をお待ちしております。そして最新の技術・製品についての講習会を11月に開催予定。何よりも多くの技術者の皆様が参加したい講習会を開催を目指します。

また、電気工事従事者が必要とする資格・知識・技能を習得す

るため、1級・2級電気工事施工管理技士、第一種・二種電気工事士、消防設備士甲種4類、1級・2級電気通信工事施工管理技士などの受験準備講習会の開催、登録電気工事基幹技能者認定講習会や石綿・酸欠・足場組立などの各種技能講習会も随時開催いたします。会員企業の皆様には大勢のご参加をお待ちしております。さらに、県営住宅消防設備保守点検業務の受託業務などにも本年も積極的に取り組んでまいります。

今年度も技術研究委員会として魅力ある活動を目指して参りますので、会員企業皆様のご協力を宜しく願いいたします。

## 事故防止対策委員会 委員長 山本 和利

令和8年度、事故防止対策委員会は、安全意識の向上と防災・減災対策の実践を通じて、災害時における防災協定の実効性向上を目指し、さまざまな取り組みを進めてまいります。

埼玉県との防災協定に基づく「災害実働マニュアル」は、一昨年よりスマートフォンからも閲覧可能な「オンライン災害実働マニュアル」へ移行しました。令和8年1月には、「埼玉版FEMA九都県市合同防災訓練・図上訓練」にシナリオなしで参加し、マニュアルの実効性を検証いたしました。これらの成果を踏まえ、本年度は協会内においても、マニュアルに準じた防災訓練を9月に実施する予定です。より実効性のある体制づくりに向け、皆様のご協力をお願い申し上げます。

また、本年度は労働安全衛生規則の一部改正に伴う「工作物石綿事前調査者講習」をはじめ、「低圧・高圧／特別高圧電気取扱業務特別教育」や「職長・安全衛生責任者教育」など、電気設備工事における安全・事故防止に関わる各種講習を引き続き開催いたします。ぜひ積極的にご活用ください。

7月には「安全大会」の開催を予定しており、安全意識のさらなる向上を図るとともに、安全管理者の表彰も行います。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

電業協会としては、SDGsに沿った活動も継続しており、事故防止対策委員会では、すべての会員企業が2030年までにBCPを策定することを目標に、発災時における企業活動のリスク軽減に向けた支援体制の整備を進めてまいります。

## 人材育成委員会 委員長 佐野 雄一郎

人材不足が第一の課題となっている企業が多い中、会員企業が取れる道は、「即戦力」ではなく、「育成」をし、新人とベテランが共に成長することが不可欠となっています。

5年・10年先の人材をどう獲得し、育成をして行くかを各企業が考えなければなりません。これまでも人材育成委員会では、業界と教育機関を繋ぎPR活動をし、学校訪問、現場見学授業の実施等を行っています。業界の必要性や将来性をPRすることで、業界に興味を持ってもらい、就職してみたい職業と思われるように本年も事業を進めていきたいと思っております。

新入社員に向けた4月に雇入れ安全講習やマナー講習を行う【新入社員研修】や7月に電材メーカーを講師とした技術入門講習や、継続のマナー講習を行う【フォローアップ研修】を通して単体企業では実施が難しい研修を行っています。

今年度から、工業高校等の理系の学科を卒業していない社員のための教育コンテンツの開発も準備をしていきます。多様な人材を各社のパワーとなるような教育の仕方も委員会を通して研究していきたいと考えています。

多くの「人材」が活躍できるよう、各事業へのご協力をお願いいたします。

## 委員会の年間活動予定

## 【総務・広報委員会】

4月	彩の耀 第214号発行（広報委員会） 決算監査（総務委員会）
5月	第1回委員会〔新委員会事業〕 令和8年度定時総会・懇親会・優良従業員表彰 JECAフェア（当協会の広報と展示〔パネル〕）
6月	全体会議
7月	第2回委員会 令和8年度 会員名簿発行 彩の耀 第215号発行
11月	彩の耀 第216号発行 中間監査 会員交流大会
12月	出前授業（春日部工業高校）
1月	イノベーションセミナー・賀詞交歓会 彩の耀 第217号発行
2月	第3回委員会

## 【企業対策委員会】

4月	第1回委員会（外国人採用について検討）
6月	第1回企業対策セミナー
8月	第2回企業対策セミナー （空調衛生設備協会と合同開催） 第2回委員会
9月	第3回企業対策セミナー
10月	多様な人材確保育成事業
1月	イノベーションセミナー・賀詞交歓会 第3回委員会

## 【人材育成委員会】

4月	新入社員研修会
5月	学校PR JECAフェア
7月	第1回委員会 新入社員フォローアップ研修
9月	委員会事業研修 第2回委員会
12月	出前授業（春日部工業高校）
1月	第3回委員会 工事現場見学会（県設備課との共催）
3月	第4回委員会

## 【事故防止対策委員会】

4月	第1回委員会
5月	可搬式防災無線設置訓練 工作物石綿事前調査者講習
6月	職長・安全衛生責任者教育 低圧電気取扱者特別教育
7月	第2回委員会 安全大会
8月	管財課防災実施訓練
9月	災害復旧対策講習会 協会として図上訓練（委員会 検討・電気工事災害復旧シミュレーションとして）
10月	第3回委員会 災害対策研修会 職長・安全衛生責任者能力向上教育
11月	高圧・特別高圧電気取扱者特別教育
1月	第4回委員会 九都県市合同防災訓練図上訓練
2月	安全祈願

## 【技術研究委員会】

4月	第二種電気工事士試験（筆記）受験準備講習会 1/3
5月	第1回技術講習会 / 第二種電気工事士試験（筆記）受験準備講習会 2-3/3 / 1級電気工事施工管理技術検定試験（一次）受験準備講習会 1/5
6月	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 / 1級電気工事施工管理技術検定試験（一次）受験準備講習会 2-4/5 / 石綿作業主任者技能講習
7月	1級電気工事施工管理技術検定試験（一次）受験準備講習会 5/5 / 第二種電気工事士試験（技能）受験準備講習会 / 消防設備士甲種4類受験準備講習会 / 1級電気通信工事施工管理技術検定試験（一次）受験準備講習会
8月	足場の組立て等作業主任者技能講習 / 第一種電気工事士試験（筆記）受験準備講習会 1/5
9月	第一種電気工事士試験（筆記）受験準備講習会 2-5/5 / 1級電気工事施工管理技術検定試験（二次）受験準備講習会 1-2/4 / 2級電気工事施工管理技術検定受験準備講習会 1/5
10月	1級電気工事施工管理技術検定試験（二次）受験準備講習会 3-4/4 / 2級電気工事施工管理技術検定受験準備講習会 2-5/5 / 2級電気通信工事施工管理技術検定試験受験準備講習会 / 第一種電気工事士試験（技能）受験準備講習会 1-3/5 / 登録電気工事基幹技能者認定講習（R8埼玉会場として本年度限り）
11月	第1回委員会 / 第2回技術講習会 / 第一種電気工事士試験（技能）受験準備講習会 4-5/5 / 1級電気通信工事施工管理技術検定試験（二次）受験準備講習会
2月	第2回委員会

# 楽しや “さかな釣り”

# Voice

熊谷電機株式会社 統括部長 小澤 勝史

魚釣りと一口に言っても、沢山の種類・釣りがあります。私は海で船に乗り、釣るルアーフィッシング、狙いはシーバスです。それと、溪流や川、釣り堀（箱とも言います）などで釣るフライフィッシングです。どちらの釣もそれぞれ、私にとって、楽しいものです。今回は私なりのフライフィッシングの話をしていきます。

フライフィッシングを始めるきっかけは実兄の影響でした。私には師匠と呼べる人が二人いて、実兄と、すーさん（鈴木さん）で、テレビの釣りバカ日誌に出てくるすーさんと偶然にも同じ名字なんです（笑）（笑）。私自身は余り上達することなく釣り堀（箱）でのフライフィッシングがほとんどですけど（笑）（笑）。

前置きが長くなってしまいましたが、フライフィッシングはライン（糸）の先にフライ（一般的にハエに似せた疑似餌）をつけ、ラインごと飛ばして、ニジマス・ヤマメやイワナを釣る方法です。

フライフィッシングには、おおむね2種類の釣り方があります。投げたラインと疑似餌を水面に浮かべて、魚が食いつく瞬間にラインとロッド（竿）を合わせ釣りあげます。もう一つの釣り方は投げたラインと疑似餌が水面より下、水の中に沈んで行くんですね。これは前の釣り方と違い、ラインを引かないと底まで

沈んでしまいますので、強弱を付けたり、引くのを止めてみたりして、魚を誘います。私は、後者の水の中に沈む釣り方、俗にシンキングと呼んでいるのですが、このシンキングの面白いのは、当然水中なので、ラインも疑似餌も当然魚も見えない訳ですから、感覚（俗に言う脈釣り）だけが頼りですね。始めはそんな感覚などわかる訳なく釣り堀（箱）といえども一匹も釣れないことがたびたびです。ですが何回も挑戦しているうちに、水の中のラインや疑似餌の感覚そして、魚が疑似餌を追ってくる感覚が手に伝わってくる、まるで見えているかのように、“そして”魚が疑似餌に喰いついた瞬間に合わせた時ラインを伝わってくる“グウゲー”っと、なんともいえない感覚が、私にとって感動であり、癒しであり、この上ない至福のひと時です。

フライフィッシング、なかなか面白いですよ。



## 川口工業高校で現場見学会

川口工業高校の生徒を対象とした工事現場見学会を、県設備課との共催で1月20日、川口市内の同校で開催しました。参加した電気科2年生のおよそ70人は、受注者の（株）八洲電業社から自校で行われている電気設備工事の説明を聞きながら間近で見たり、工事に使用する工具や資材工事に触れて理解を深めました。



腰道具を装着して重さを体験する生徒

## 県住保守点検業務説明会を実施

昨年12月2日、県営住宅消防・電気設備等保守点検業務実施説明会を、埼玉県住宅供給公社との共催により、埼玉建産連研修センターで開催し、業務を担当する企業の担当者らが参加しました。



点検業務を行う各社担当者が参加した

説明会では、点検実施方法や点検結果報告書の作成について、また、報告書の提出方法などを解説しました。

## 群馬県協会と2回目の交流懇談会

3月13日、群馬県電設協会との第2回目となる交流懇談会をホテルメトロポリタン高崎で開催しました。当日は、それぞれの協会幹部など12人が出席。4つの議題について意見を交わしました。

積田会長は「群馬と埼玉はさまざまな面で同じ境遇があると認識している。ぜひ、会員同士の今後の交流や仕事の話もできるような仲になれば大変ありがたい」と語りました。

議題は▽人材確保対策▽リース会社を介した発注案件への対応▽安全衛生対策▽社会貢献事業への取り組み状況——などをテーマとしました。



# 協会のうごき

## 3月

- 6~7日 能登半島地震復興支援・視察会
- 9日 第2回総務部会
- 11日 災害復旧対策緊急連絡体制シミュレーション
- 13日 群馬県電設業協会との意見交換会
- 18日 第11回理事会

## 4月

- 2・3・6日 令和8年度 新入社員研修  
(ビジネスマナー・雇い入れ時安  
全衛生教育)
- 15日 第1回企業対策委員会
- 21日 第2回 選挙管理委員会  
第1回 理事会
- 27日 決算監査

## 5月

- 8日 第2回 理事会
- 15日 総務・広報委員会
- 19日 第1回 技術講習会
- 28日 第3回理事会  
令和8年度 定時総会・総会懇親会  
第4回理事会

### 埼玉県認定職業訓練事業

第二種電気工事士試験(筆記) 受験準備講習会	4月23・5月7・14日
1級電気工事施工管理技術検定試験(一次) 受験準備講習会	5月27・6月10・17・24・7月1日

## (一社) 埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

### さいたま支部 (17社)

- 浦和電気工事(株)(南区)
- (株)エルテックコーポレーション  
(見沼区)
- 大塚電設(株)(浦和区)
- (株)岡村電機(緑区)
- 毛塚電気工事(株)(大宮区)
- 埼玉田中電気(株)(南区)

- 埼玉電設(株)(中央区)
- 栄電業(株)(上尾市)
- 新生電気工事(株)(見沼区)
- (株)積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業(株)(岩槻区)
- (株)靄島電機(大宮区)
- (株)万代電気工業(桜区)
- (株)松岡電気工業(桜区)
- (株)丸電(西区)
- 瑞穂電設(株)(北区)
- ◎(株)八洲電業社(北区)

### 東部支部 (14社)

- (株)内田電気商会(久喜市)
- (株)大久保電気(越谷市)
- 倉持電気(株)(三郷市)
- 三光電気工事(株)(上尾市)
- (株)三進電気工事(上尾市)
- 島村電業(株)(上尾市)
- (株)新電気(三郷市)
- (株)大広電気(八潮市)
- 太洋電設工業(株)(越谷市)
- (株)高岡電気工業(松伏町)
- ニチデン技術サービス(株)  
(北本市)

- ◎深井電気(株)(北本市)
- 富士電気工業(株)(北本市)
- (株)弓木電設社(白岡市)

### 西部支部 (20社)

- 飯島電器工事(株)(川越市)
- (株)市之瀬電設(志木市)
- (株)ウェーブゼンケン(入間市)
- (株)大庭電気商会(川越市)
- (株)岡島電気商会(川越市)
- (株)おぎでん(川越市)
- 木下電機(株)(入間市)
- クマタ(株)(狭山市)
- (株)三共電気商会(和光市)
- (株)関根電気商会(川越市)
- (株)電成社(川越市)
- (株)中村電気(新座市)
- ◎橋電(株)(所沢市)
- (株)橋本電工(所沢市)
- フジヤ電気工事(株)(川越市)
- (株)北産電設(所沢市)
- (株)まつもと電機(和光市)
- (株)明電社(川越市)
- (株)ヤマスズ(飯能市)
- (株)ヤマト・イズミテクノス  
(ふじみ野市)

### 南部支部 (6社)

- ◎内山電設(株)(川口市)
- (株)佐久間電設(川口市)
- 佐野電機(株)(川口市)
- 三位電気(株)(川口市)
- 高山電設工業(株)(川口市)
- 那須電機工業(株)(川口市)

### 北部支部 (15社)

- イーテクノス(株)(熊谷市)
- (株)イトラスト埼玉  
(行田市)
- (株)内村電気(深谷市)
- (株)エコー(深谷市)
- 共和電機(株)(秩父市)
- 熊谷電機(株)(熊谷市)
- (株)栗原電機(深谷市)
- 霜田電気(株)(皆野町)
- 中外電気工業(株)(深谷市)
- (株)東電工業社(熊谷市)
- (株)長井電機(熊谷市)
- (株)沼尻電気工事(深谷市)
- (株)早川電工(鴻巣市)
- 松山電設(株)(東松山市)
- ◎(株)躍進電気(深谷市)



## 「課題解決へ取り組む年」

### 新年賀詞交歓会を開催

1月15日、新年賀詞交歓会をホテルブリランテ武蔵野で盛大に開催しました。多くの会員や賛助会員、そして協会顧問を務める県議会議員ら、およそ100人が出席して新年の発展を祈念するとともに、親睦を深めました。

あいさつで積田会長は「2026年は、働き方改革や人手不足といった問題や課題を解決するために、業界や企業が取り組まなければならない年」と述べたうえで、昨年12月に施行された改正建設業法では、標準労務費が運用されたとし「新たな商習慣がはじまり、働き方のこ

れまでの常識が変わった。大変厳しい環境に置かれているが、業界の発展に向けて取り組んでいく」と決意を示し、協力を呼び掛けました。



100人が出席しました